

## ポータルサイト「屋久島マルシェ」に関する陳情書

2013年11月26日

屋久島町議会 議長 日高 好作殿

住所 〒891-4208 屋久島町口永良部島本村 379-1

氏名 子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組  
(通称、えらぶ年寄り組)代表 後藤 利幸

電話番号 0997-49-271

件名

ポータルサイト「屋久島マルシェ」の名称変更について

陳情の趣旨

ポータルサイト「屋久島マルシェ」の名称を「屋久島町マルシェ」と変更することを要請します。

屋久島の総合情報ポータルサイトであるとして屋久島町地域雇用創造推進協議会が運用する「屋久島マルシェ」があります。トップページには「屋久島マルシェは、観光客の方には、屋久島の観光スポットや店舗情報などを簡単・便利に探すことができ旅行に役立つサイトを、屋久島町で暮らす方には、地域の生きた情報を検索でき共有していただけるサイトを目指します。」とあります。

閲覧してみると、サイト内の検索は、集落をキーワードに観光目標を探す仕組みになっており、口永良部島は、集落の一つとして位置付けられております。しかし、このようなサイト構成では、観光客にはとっては、屋久島町には屋久島しか島がないとの印象を与えてしまいます。

確かに、屋久島町にとっては屋久島が最重要な観光資源であり、口永良部島は人口140人の一集落にすぎません。しかし、離島である屋久島が、さらに離島である口永良部島とともに町を構成している点が、屋久島町にユニークさをもたらしています。口永良部島は、島全体が屋久島国立公園に含まれています。島には2次林とはいえずダジイの原生林が広がり、絶滅危惧種で天然記念物のエラブオオコウモリが生息しています。また、文化的にも、縄文遺跡や室町時代にさかのぼる城跡があったり、良港があることから、古くより琉球航路の避難港であったり、島津藩の貿易拠点が置かれたり、本土のカツオ漁の前線基地となるなど、興味深い歴史があります。

このように、屋久島とはひと味違う観光資源といえる口永良部島の存在を、多くの人々に知ってもらうためには、「屋久島マルシェ」の名称よりは、「屋久島町マルシェ」とする方が、ポータルサイトとしてよりふさわしいのではないのでしょうか。名称変更によって、すこしでも口永良部島への観光客が増加するならば、不採算航路(フェリー太陽)の改善や、口永良部島の自立の展望も開けるなど、離島振興の一助ともなり、屋久島町にとって負担軽減にもつながります。

以上の趣旨に基づき、下記の事項を要請します。

記

ポータルサイト「屋久島マルシェ」の名称を、「屋久島町マルシェ」と変更していただけるよう、町長が副会長を務める屋久島町地域雇用創造推進協議会に働きかけていただきたいこと。